KENWOOD

AM/FM チューナー

KTF-5002

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

B60-2797-00 (SI) (J) MC
97/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 96/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

本機の特徴

音質と安定性を追求した先進技術の搭載

● 前面パネルにはアルミ押し出し材を使用し、厚さ1.6mmの高剛性シャーシを使用することにより、強度を増して音質向上を図っています。
● 音質向上の為、特に重要な電源回路部を強化しています。
● AMステレオ対応ですから、AMステレオで送られてきた放送を臨場感あふれる音で楽しめます。スポーツ中継や、ドラマなどで、新しい発見があります。

イージーオペレーション機能搭載

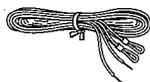
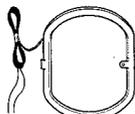
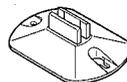
アンプKAF-7002（別売）またはKAF-5002（別売）とシステムコントロールコードで接続したとき、アンプ付属のリモコンを使用して、放送局を39局までプリセットでき、また、リモコンのP.CALL（コール）キーで簡単にプリセットした局を選局できます。
本機の特長を十分に生かすためにも、KAF-7002（別売）またはKAF-5002（別売）との接続をおすすめします。

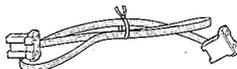
⚠ のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

目次

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

FM簡易アンテナ（1個）

AMループアンテナ（1個）

ループアンテナスタンド（1個）

オーディオコード（1本）

システムコントロールコード（1本）

ピンスパイク（4個）

滑り止めシート（4個）

FMアンテナアダプター（1個）

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様、または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本製品の故障、誤動作または不具合による、テープやディスク等へ記録された内容の損害、および録音、再生など、お客様または第三者が製品利用の機会を逸したために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

⚠警告

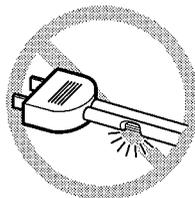
指定以外の電圧では使用しない

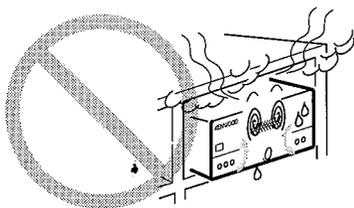
この機器は、交流100ボルト専用です。
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》

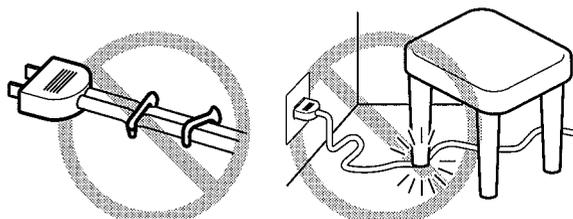
電源コードの取扱い

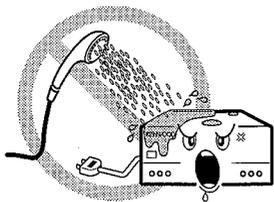
電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。

使用禁止

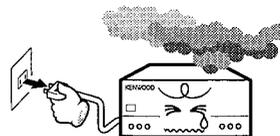
電源コードが傷ついたら（芯線の露出や断線など）使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》
●修理をご依頼ください。

放熱に注意

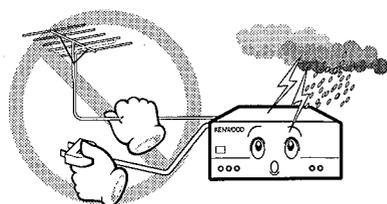
設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。
●風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
●横倒し、あおむけ、逆さまに置かない。
●布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。
《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》

電源コードの配線に注意

電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。
●電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
●敷物の下に電源コードを隠さない。
●電源コードをステープルや釘などで固定しない。
●足を引っ掛ける恐れがある配線をしない。
《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》

風呂場では使用しない

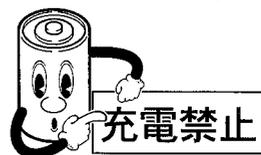
風呂場など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》

異常かな？と思ったら

煙が出たり、変な臭いや音がする場合、機器の使用を中止してください。
《火災や感電の危険があります》
●直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
●安全を確かめてから、修理をご依頼ください。

電源プラグをコンセントから抜け

雷が鳴り始めたら

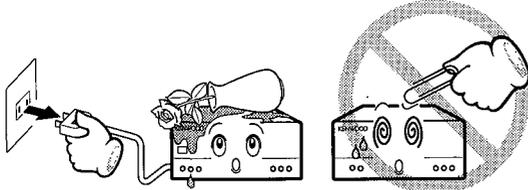
アンテナ線や電源プラグに触れないでください。
《感電の危険があります》

乾電池は充電しない

《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》

警告

機器の内部に異物や水を入れない

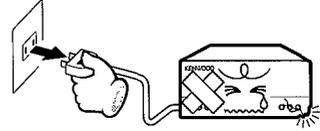
内部に水や、異物が入った場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。

落下した機器は使わない

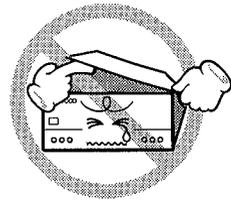
落としたり、カバーやケースがこわれた機器を、使用しないでください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。

ケースを絶対に開けないでください

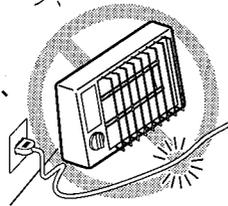
機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。

《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

- 点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご依頼ください。

注意

電源コードは熱器具の近くを避けて

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。

《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》

指定以外のコードを使わない

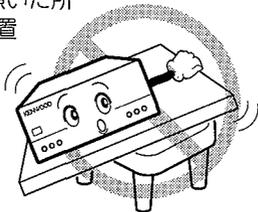
関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。

《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります》

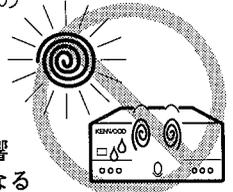
- 指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。

不安定な場所には置かない

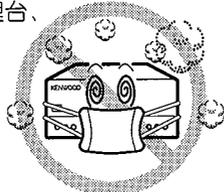
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》

温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。

《火災や感電の原因になることがあります》

電源プラグをコンセントから抜け

長期間使用しないときは

長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》

⚠注意

音量に気をつけて

電源を入れる前に、音量(ボリューム)を最小にしてください。
《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
《耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害の原因になることがあります》

お手入れの際は

電源プラグをコンセントから抜け

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
《電源プラグをコンセントに接続したままでの作業は、感電の原因になることがあります》

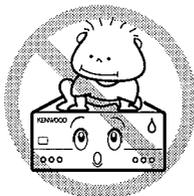
3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。
《内部にほこりがたまったまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》

お子様にご注意

お子様が機器に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。
《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》

指をはさまれないよう注意

お子様がカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。
《けがの原因になることがあります》

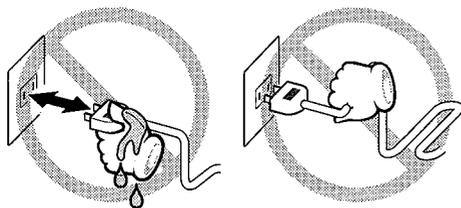
電池はお子様の手が届かないところに置いてください。
《電池を飲み込むおそれがあります》

電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。次のことを、必ず守ってください。

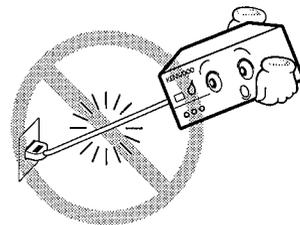
- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-"の向き)に注意し、表示通りに入れてください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

電源プラグの抜き差しは

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
《感電の原因になることがあります》

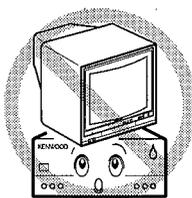
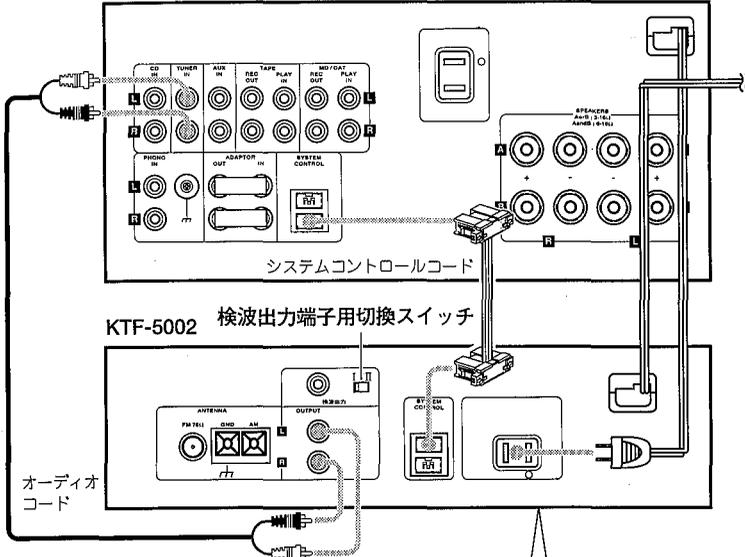
電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。
《コードの部分を引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》

機器を移動させる際は

電源プラグをコンセントから抜け

移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード(アンテナ線や機器間の接続コードなど)を、はずしてください。
《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》

電源プラグは清潔に

1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。
《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》

指定機器以外のものを乗せない

機器の上に指定機器以外の物体を乗せないでください。
《乗せた物体の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物体の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》

⚠注意 接続をするときは、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。機器の接続をするときは下図のように行ってください。

マイコンの誤動作について

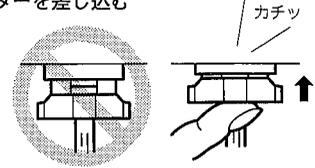
正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障と思われる症状ですが...」を参照してマイコンをリセットしてください。 →18

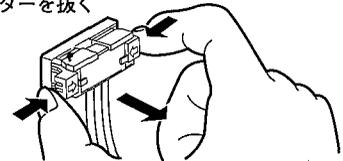
アンプ KAF-7002（別売）またはKAF-5002（別売）

図のように接続してください。
関連システム製品を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

電源コンセントへ
AC100V 50Hz/60Hz

システムコントロールコードの接続

コネクターを差し込む

カチッと音がするまで平行に差し込みロックする

コネクターを抜く

コネクター部分の両端を押しながらまっすぐに引き抜く

ピンスパイクについて

付属のピンスパイクはお好みにより、底面のインシュレーターに図のようにねじ込んでご使用ください。震動の影響を少なくすることによって、音質が変化します。また、ねじ込む量によって、高さを調節することができます。ピンの先は尖っていますので、他のものを傷つける場合があります。ピンが当たる部分には必ず付属の滑り止めシートを敷いてください。

⚠注意

ピンを付けたまま、機器を移動しないでください。落とした場合、危険です。使用時以外はお子様の手の届かないところに保管してください。飲み込む恐れがあります。

検波出力端子について

この出力端子は、市販の「見えるラジオアダプター」を接続するために使用します。端子右のスイッチは接続するアダプターの種類によって切り換えます。尚、接続するアダプターによってスイッチの位置を"Ⅰ"、"Ⅱ"のどちらかに切り換えて、正しく動作するほうに設定します。

電源コードの接続

本機の電源コードの片側には、白色マークが施されています。
AC電源コンセントへの差し込みは、白色マーク側をコンセント差し込み口の長い方に合わせるのが一般的ですが、接続される機器やACラインの状態によって一様ではありませんので、比較試聴の上、良い方をお選びください。
なお、従来通り極性にとらわれずに接続されても結構です。

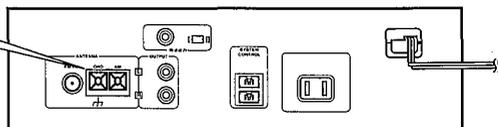
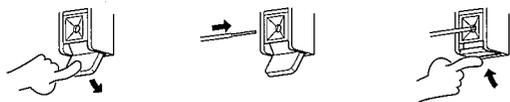
システム動作について

① イージーオペレーション
アンプKAF-7002（別売）またはKAF-5002（別売）とシステムコントロールコードで接続されているとき、アンプの入力に従ったイージーオペレーションが可能です。詳しくはアンプKAF-7002（別売）、KAF-5002（別売）の取扱説明書をお読みください。

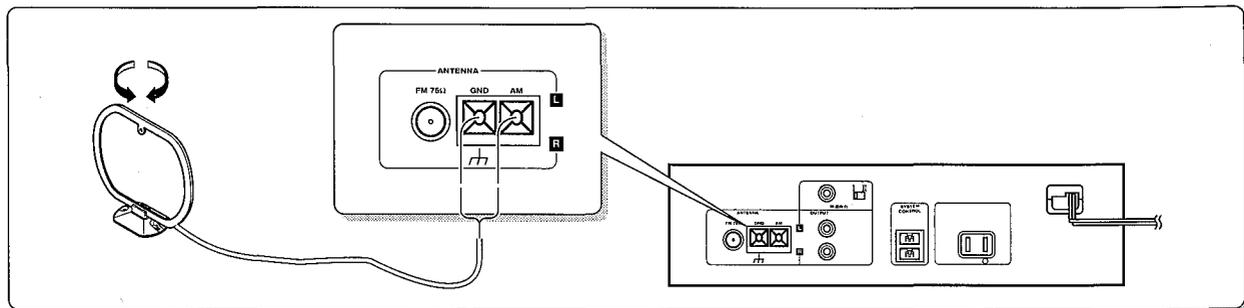
② 放送局のプリセット
アンプKAF-7002（別売）またはKAF-5002（別売）とシステムコントロールコードで接続されているとき、アンプに付属のリモコンで放送局のプリセット、およびプリセットした放送局を順に呼び出すプリセットコールができます。

外部用電源コンセントについて

⚠警告

背面のACコンセントが供給できる電力は400W（ワット）までです。接続する装置の消費電力が合計で400W（ワット）を超えないようにしてください。火災の原因になります。
電熱器、ヘヤドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。
また、供給電力以内であっても、テレビなど電源を入れたときに大電流が流れる機器は使用しないでください。

AMアンテナの接続

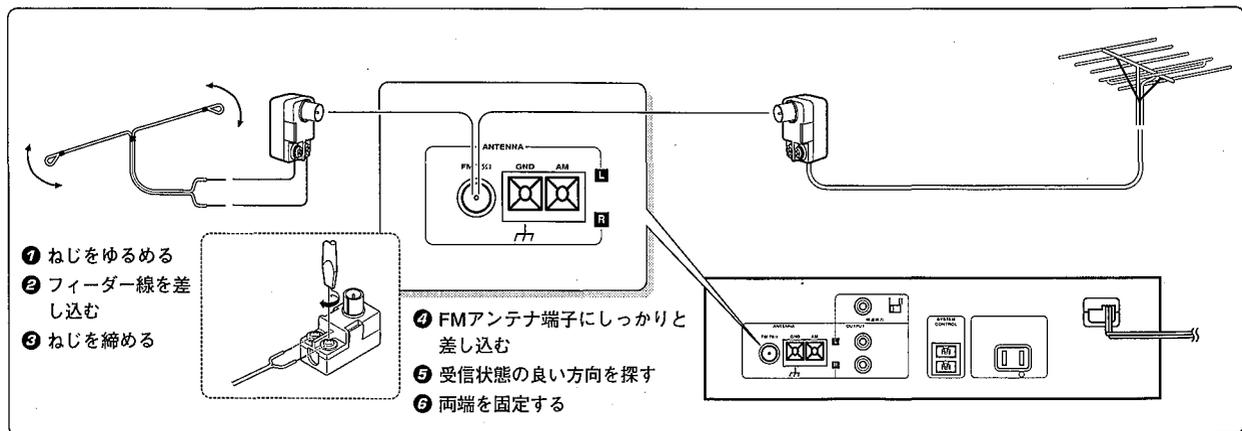
AMループアンテナの接続

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで受信状態の一番よい方向に向けます。

FMアンテナの接続

FM簡易アンテナの接続

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナの使用をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、室内用アンテナは取り外してください。

FM屋外アンテナの接続

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引き込み、FM75Ω端子に接続します。

地域によっては壁面アンテナ端子（ケーブル放送受信アンテナ等）に接続することでFM放送を受信することができます。

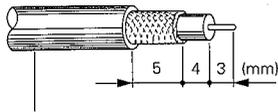
⚠注意 屋外アンテナ設置上のご注意

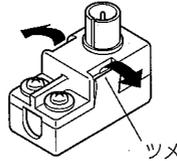
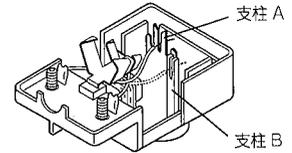
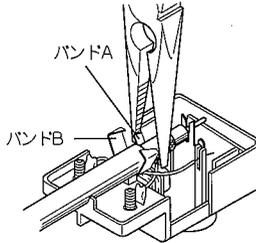
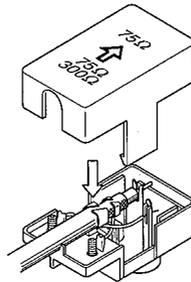
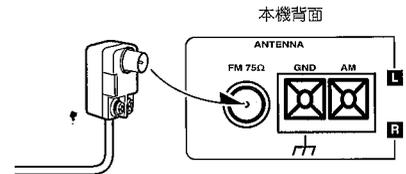
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

メモ

1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因になります。
3. 背面の電源コンセントには、表示されている定格以上の機器を接続しないでください。

アンテナアダプターの接続

❶ 同軸ケーブルを次のように加工します。

5C-2V (RG-6) または3C-2V (RG-59)

❷ アンテナアダプターのカバーを開けます。指でツメを開いてロックをはずし、カバーを引っ張りだします。

❸ 芯線を支柱Aから外し、支柱Bに差し込みます。

❹ 同軸ケーブルをクリップに鋏み、バンドA、Bをプライヤーを使って締めます。

❺ カバーを閉めます。

❻ アダプターをアンテナ端子に接続します。

知っておきましょう

メンテナンス

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

参考

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

各部のなまえと働き

❶ ADJUST（アジャスト）キー →11

時刻合わせに使います。

❷ SLEEP（スリープ）キー →17

おやすみタイマーをするときに使います。

❸ EXE.（エクゼ）キー →15

タイマー予約に使います。

❹ AUTO（オート）キー →12

受信モードを選ぶときに使います。

❺ TUNING（チューニング）つまみ →11

受信する放送局を選ぶとき、およびタイマー予約と時刻合わせに使います。

❻ POWER（パワー）キー

押すごとに電源のオン/スタンバイに切り換わります。

❼ PROG.（プログラム）キー →14

タイマー予約に使います。

❽ ENTER（エンター）キー →11

タイマー予約および時刻合わせに使います。

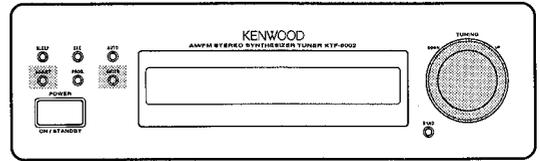
❾ BAND（バンド）キー →12

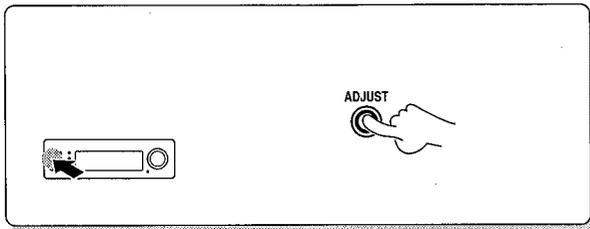
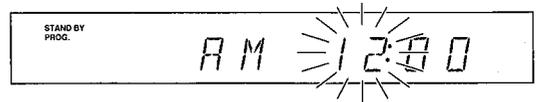
受信するバンド（FM/AM）を切り換えます。

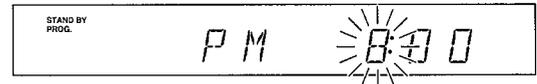
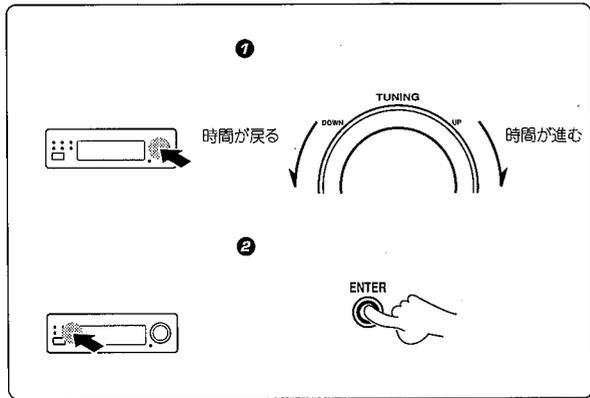
POWERスイッチのSTANDBYについて

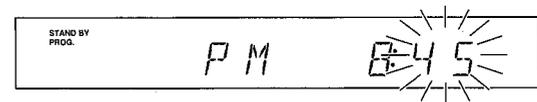
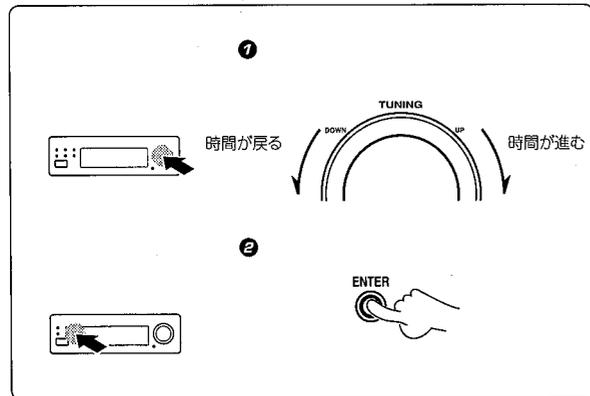
本機では電源プラグをコンセントに接続すると、電源ON/OFFに関係なくスタンバイインジケーターが点灯します。これは電源OFF時にも、メモリー保護のため、微弱な通電を行っているためです。これをスタンバイ状態といいます。

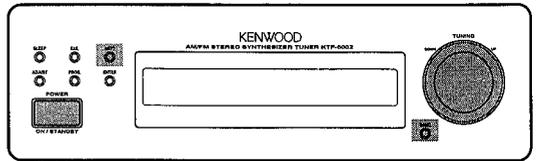
時刻合わせ

本機には、時計機能がついています。タイマーを使う前にかならず正確な時刻を合わせてください。

：使用するキー、または、つまみ等を示します。

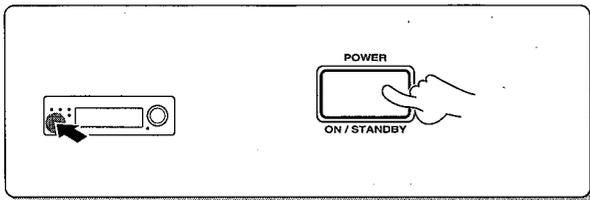
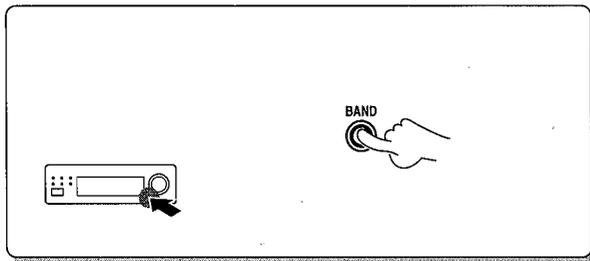
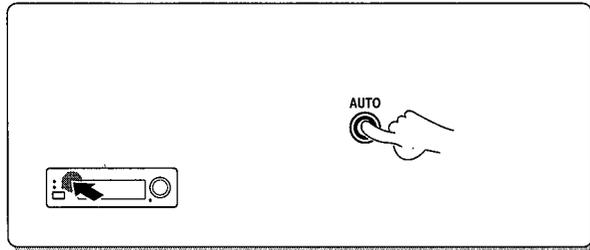
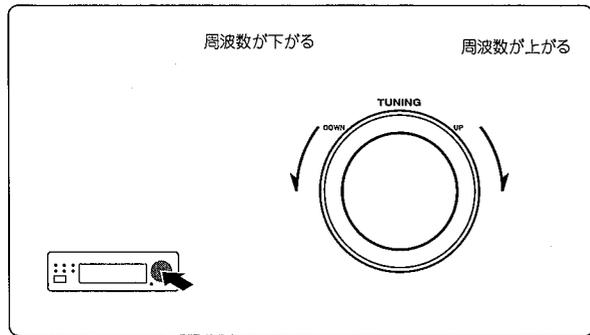
1 時刻合わせモードにする

8時45分に合わせる例

●時間表示が点滅を始めます。

2 時間を合わせる

●時刻は12時間表示で表示されます。
●ENTER(エンター)キーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅を始めます。

3 分を合わせる

●間違えて押したときは、最初からやり直してください。
●時報と同時にENTER(エンター)キーを押すと正確な時刻表示ができます。
●停電があったり、電源プラグをコンセントから抜いたときは、時刻表示が点滅します。その場合は、もう一度時刻合わせをしてください。

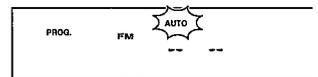
本機は、AMステレオ対応です。スポーツ中継やドラマなどを臨場感あふれる音声で楽しむことができます。
AMステレオによる新しい発見をお楽しみください。（雑誌、新聞などのラジオ番組表で確認してください。）

：使用するキー、または、つまみ等を示します。

放送を受信する

1 電源を入れる

2 FM/AMのどちらかを選ぶ

押すたびに切り換わります。
①FM
②AM

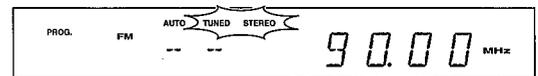
"FM"または"AM"の表示

3 選局方法を選ぶ

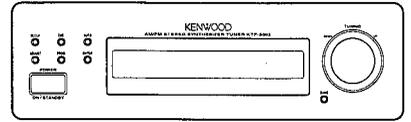
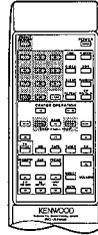
押すたびに切り換わります。
①AUTO点灯（オート選局）
②消灯（マニュアル選局）

● 通常はAUTO（オート選局）にしておきます。

電波が弱く、雑音が多いときはマニュアル選局にします。（マニュアル選局のとき、ステレオ放送はモノラル受信となります）

4 放送局を選ぶ

受信すると"TUNED"が点灯　　周波数の表示

オート選局のとき　：自動的に次の放送局を受信します。
マニュアル選局のとき　：TUNINGつまみを止まる位置まで回すと、周波数が連続的に変わります

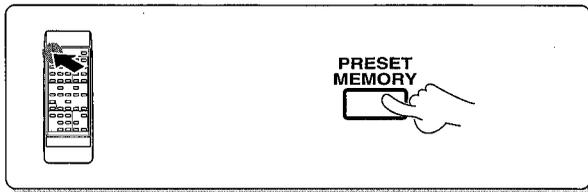
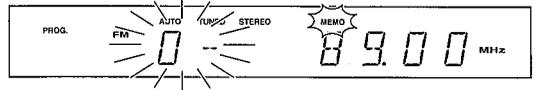
放送局を記憶させる（プリセット）（アンプKAF-7002（別売）またはKAF-5002（別売）と接続時）

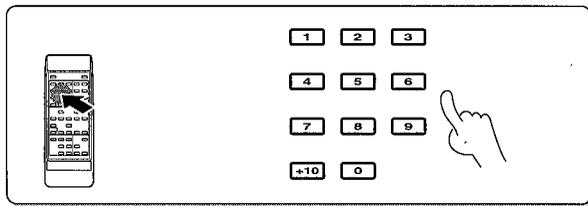
本機がアンプKAF-7002（別売）またはKAF-5002（別売）とシステム接続されているとき、アンプKAF-7002（別売）またはKAF-5002（別売）に付属のリモコンを用いて、最大39局までの放送局に、番号を付けて記憶させておけます。次からは、番号を指定するだけで、受信できるようになります。

準備しましょう
- アンプの入力切換を"TUNER(チューナー)"にする。
- 記憶させたい放送局を受信している状態にする。 →12

アンプ付属リモコン（別売）

■：使用するキー、または、つまみ等を示します。

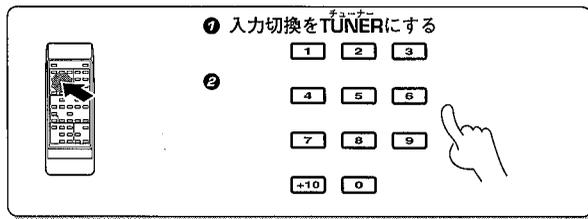
1 受信中にPRESET(プリセット) MEMORY(メモリー)キーを押す

"MEMO(メモ)"点灯（約5秒間）

5秒以上たった場合は、もう一度選び直します。

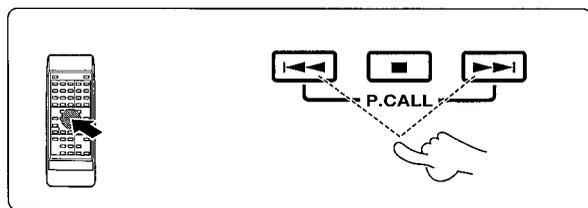
2 1～39のプリセットナンバーを選ぶ

数字キーを押す順序は. . . .
"15"に記憶させるとき：[+10] [5]
"20"に記憶させるとき：[+10] [+10] [0]

- 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。

記憶させた放送局を受信する

目的の放送局のプリセットナンバーを押す

数字キーを押す順序は. . . .
"15"なら：[+10] [5]
"20"なら：[+10] [+10] [0]

記憶させた放送局を順に聴く（プリセットコール）

P.CALLキーを押す

- キーを押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

▶▶| を押すと　1 → 2 → 3 ..... 37 → 38 → 39 → 1 .....

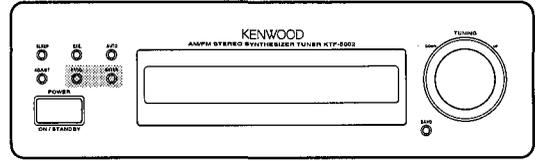
|◀◀ を押すと　39 → 38 → 37 ..... 3 → 2 → 1 → 39.....

- 押したままにすると約0.5秒間隔で放送局をスキップします。

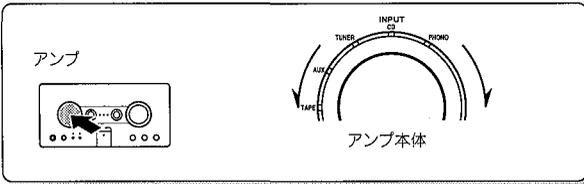
タイマーを使う

時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください →11

タイマー機能を使って、留守録音したり、目覚ましとして使うことができます。アンプKAF-5002（別売）またはKAF-7002（別売）の取扱説明書の"接続のしかた"にしたがって、本機と各機器を接続してください。

タイマー再生、タイマー録音（PROG.1、PROG.2）
　設定した時間帯に、選んだソースを再生（または放送を録音）します。
おやすみタイマー
　設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

：使用するキー、または、つまみ等を示します。

タイマー予約をする

1 聴きたい（録音したい）入力ソースを選ぶ

入力切換つまみを回すと、以下のように切り換わります。

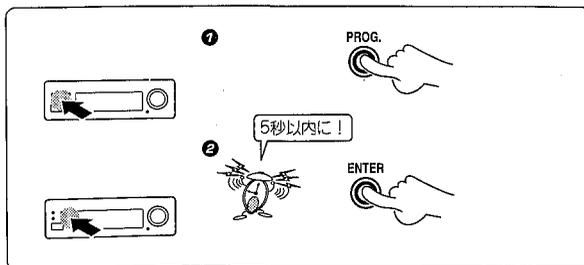
●選ばれたソースの入力切換インジケーター（アンプ本体）が点灯します。

2 聴く（録音する）ための準備をする

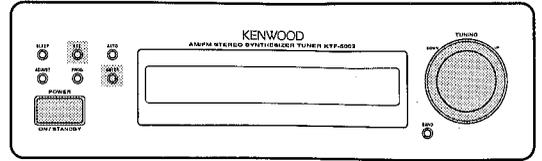
●放送局を聴く	●CDを聴く	●テープを聴く	●MDを聴く	●外部入力のソースを聴く	●録音をする
放送局を選ぶ →12	ディスクを入れる (プログラム再生はできません。)	❶ カセットデッキにテープをセットする ❷ カセットテープデッキのTIMER（タイマー）スイッチをPLAY（プレイ）側にする	❶ MDレコーダーにMDディスクを入れる ❷ MDレコーダーのTIMER（タイマー）スイッチをPLAY（プレイ）側にする	AUX端子に接続した機器のタイマー設定をする	❶ 録音の準備をする ❷ MDレコーダーまたはカセットテープデッキのTIMER（タイマー）スイッチをREC（レック）側にする

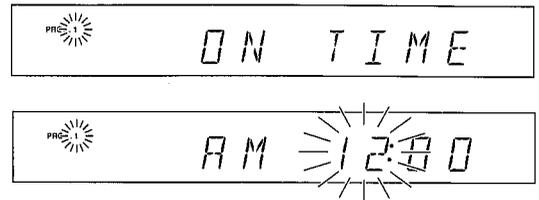
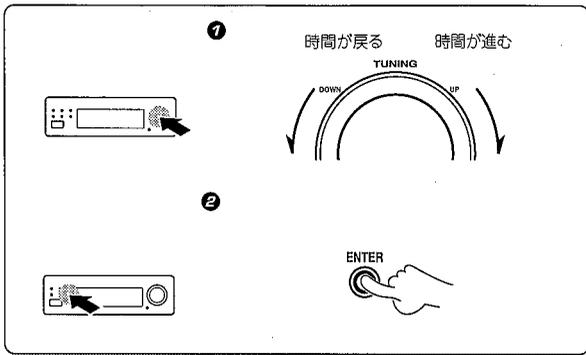
3 音量を調節する

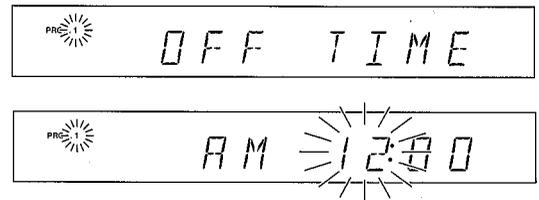
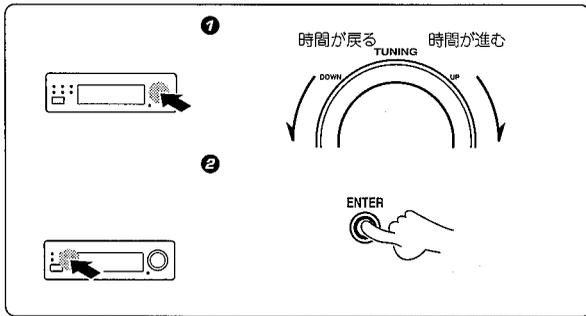
●放送または外部入力を録音するときは、音量を最小にセットしておいてください。

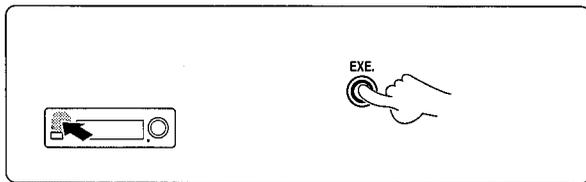
4 プログラム番号を選ぶ

●選んだプログラム番号が点灯します。
●"ON TIME" "OFF TIME"を順に表示します。
●すでに予約されているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。

PROG.キーを押すたびに切り換わります。

→ ①PROG. 1　（プログラム1）
　 ②PROG. 2　（プログラム2）
　 ③PROG.　　（予約しないとき）

：使用するキー、または、つまみ等を示します。

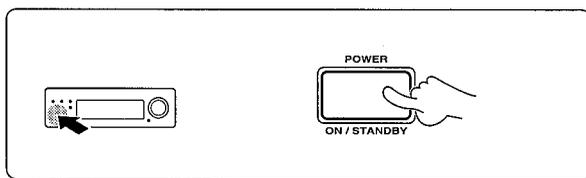
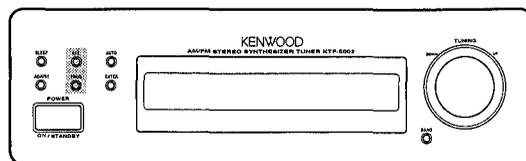
5 ON(オン)時刻を設定する

- ❶、❷の手順を行ない"時"を入力した後、同じ要領で"分"を入力します。
- 間違えたときは手順 4 からやり直してください。

6 OFF(オフ)時刻を設定する

- ❶、❷の手順を行ない"時"を入力した後、同じ要領で"分"を入力します。
- 間違えたときは手順 4 からやり直してください。

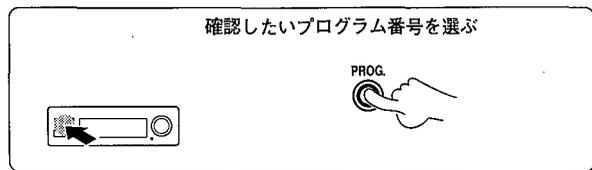
7 働かせたいプログラム番号をセットする

EXE.キーを押すたびに切り換わります。

①PROG.1　プログラム1のみ実行
②PROG.2　プログラム2のみ実行
③PROG.1 2　プログラム1と2の両方を実行します。
④PROG.　予約しないとき

- 選んだプログラム番号が点灯します。
- プログラム番号をセットしないとタイマーは働きません。

8 電源をOFF(オフ)にする

- アンプKAF-7002（別売）またはKAF-5002（別売）とシステム接続しているときは、アンプの**REMOTE(リモート) POWER(パワー)**キーで電源をOFF(オフ)してください。

▒ ：使用するキー、または、つまみ等を示します。

予約の内容を確認する

確認したいプログラム番号を選ぶ

PROG.キーを押すたびに切り換わります。

- ①PROG.1　(プログラム1)
- ②PROG.2　(プログラム2)
- ③PROG.　(予約しないとき)

●予約内容を約5秒ずつ表示します。そのあと、元に戻ります。

予約内容を変更したいときは、

"タイマー予約をする"を始めからやり直してください。

タイマーを働かせたくないとき

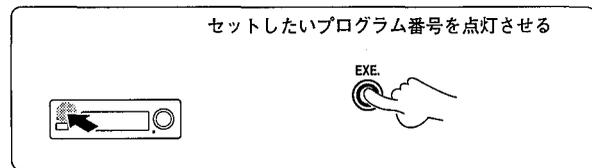
プログラム番号をすべて消灯させる

EXE.キーを押すたびに切り換わります。

- ①PROG.1　(プログラム1)
- ②PROG.2　(プログラム2)
- ③PROG.1 2　(プログラム1と2)
- ④PROG.　(予約しないとき)

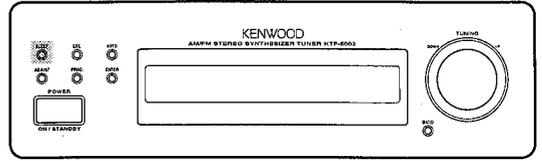
●予約内容は記憶しています。

再び同じ内容のタイマーをセットする

セットしたいプログラム番号を点灯させる

EXE.キーを押すたびに切り換わります。

- ①PROG.1　(プログラム1)
- ②PROG.2　(プログラム2)
- ③PROG.1 2　(プログラム1と2)
- ④PROG.　(予約しないとき)

●ディスク、テープの準備、音量の調節をしておきます。

メモ　予約内容は、削除できません。内容を変更することにより、以前の内容が消されます。

：使用するキー、または、つまみ等を示します。

おやすみタイマー予約

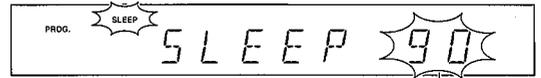
何分後に電源を切るかを設定する

- セットした時間が過ぎると自動的に電源がOFF（オフ）になります。
- 1回押すごとに10分ずつ減っていきます。最大90分まで設定できます。

90 → 80 → 70 ..... 30 → 20 → 10 → 解除 → 90 → 80 .....

解除するには

電源をOFF（オフ）にする、またはSLEEP（スリープ）キーを解除になるまで押す

故障と思われる症状ですが・・・・

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がON（オン）のときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

電源コンセントから電源プラグを抜き、POWER（パワー）キーを押しながら、電源プラグを差し込み直す。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

症　状	原　因	処　置
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	●停電があった。 ●電源プラグを一度抜いた。	●現在時刻をもう一度合わせる。→11 ●現在時刻をもう一度合わせる。
タイマーが作動しない。	●現在時刻を合わせていない。停電があった。 ●タイマーのON時刻とOFF時刻を設定していない。または同時刻になっている。 ●タイマーの実行指定をしていない。	●"時刻合わせ"をみて現在時刻を合わせる。 ●タイマーのON時刻とOFF時刻を設定する。 ●EXE.（エグゼ）キーで実行指定をする。→15
放送局が受信できない。	●アンテナを接続していない。 ●放送バンドが合っていない。 ●受信したい放送局の周波数に合っていない。	●アンテナを接続する。→8 ●放送バンドを合わせる。→12 ●受信したい放送局の周波数に合わせる。
雑音が入る。	●自動車のイグニッションノイズ。 ●電気器具の影響によるもの。 ●テレビが近くにある。	●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。
アンプ（別売）付属のリモコンでプリセットしたあと、数字キーを押しても受信できない。	●プリセットした放送局が、受信できない周波数である。 ●長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。 ●アンプの入力切換がTUNER（チューナー）になっていない。	●受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ●もう一度プリセットする。→13 ●入力切換をTUNER（チューナー）にする。

定格

FM チューナー部

受信周波数範囲 .... 76 MHz ～ 90 MHz
アンテナインピーダンス .... 75 Ω 不平衡
実用感度 (モノラル)............................15.2 dBf (1.6 μV, 75 Ω)
全高調波ひずみ率
　モノラル .... 0.3 %　(1 kHz, 65 dBf 入力時)
　ステレオ .... 0.5 %　(1 kHz, 65 dBf 入力時)
SN比
　モノラル .... 80 dB (65 dBf 入力時)
　ステレオ .... 70 dB (65 dBf 入力時)
ステレオセパレーション
　1 kHz .... 40 dB
周波数特性
　(30 Hz ～ 15 kHz) ....+ 0.5 dB, - 2.0 dB
出力レベル/インピーダンス (FM : 1 kHz, 100 %変調)
　固定出力 ....0.6 V / 600 Ω

AM チューナー部

受信周波数範囲 .... 531 kHz ～ 1,602 kHz
実用感度 .... 12 μV / (500 μV/m)
S/N比
　モノラル .... 48 dB
　ステレオ .... 40 dB
ステレオセパレーション .... 30 dB
出力レベル/インピーダンス (AM : 400 Hz, 30 %変調)
　.. 0.18 V / 600 Ω

電源部・その他

電源電圧・電源周波数 .... AC 100 V, 50 Hz/60 Hz
定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示).................10 W
ACアウトレット ....1 (非連動、最大400 W)
最大外形寸法 .... 幅： 270 mm
　.. 高さ： 88 mm
　..............高さ (ピンスパイク装着時、最小)： 95 mm
　.. 奥行： 329 mm
質量 (重量) ....3.2 kg (正味)

メモ

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
●極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

保証とアフターサービス （必ずお読みください）

KTF-5002 (J)

保証について

保証書

製品には保証書が別途添付されています。所定事項（お買い上げ日、販売店名など）が記載されていること、ならびに記載の内容を必ずご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

修理をご依頼になるときは

「故障と思われる症状ですが…」を参照してお調べいただき、なお異常があるときは、製品の電源をOFF（オフ）にし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご連絡ください。
（別紙"全国サービス網"をご参照ください。）

保証期間内の場合は．．．

保証書の記載内容に従い、お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所が無料修理いたします。修理の際は保証書をご提示ください。

- 電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

持込修理と出張修理

「持込修理」，「出張修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。

- 修理のために、セットを販売店やケンウッドのサービスステーション、営業所までお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。（スピーカーは除きます）
- セットを修理に持ち込まれる際は、輸送中にキズが付くのを防ぐため、必ず包装してください。
（お買い上げ時の梱包材の再使用が理想的です。）

保証期間が過ぎている場合は．．．

お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご相談ください。修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理します。

- 補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
- この期間は、通産省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ（有料修理の場合、これらの費用が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途、駐車料金をいただく場合があります。

出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（SERIAL No.）
- お買い上げ年月日
- お買い上げの販売店名
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- お客様の連絡先（お名前、住所、電話番号）

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150　東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話（03）3477-5335　〒153 東京都目黒区青葉台 3-17-9（ケンウッド青葉台第二ビル）
（大阪）電話（06） 357-5335　〒534 大阪市都島区東野田町 1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。